



もしかして、おかたづけって
芸術のはじまり？

東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト オープン・レクチャー vol.3

原作者オーシルさんが語る『キュッパのはくぶつかん』

とびらプロジェクト オープン・レクチャーの3回目となる今回は、福音館書店より出版されている絵本『キュッパのはくぶつかん』の原作者オーシル・カンスタ・ヨンセンさんをお招きし「自分の感じ方や考え方を見つめ、伝えることの、根源的な楽しさや喜び」について語って頂きます。『キュッパのはくぶつかん』に登場するキュッパは丸太の男の子。森でいろいろなものを集めて分類したあと、みんなにも見てもらいたいと考えたキュッパは博物館を開きました。しかし次第に博物館を続けることに疲れたキュッパは博物館をやめ、展示物の記録写真をもとにした図録を作り、展示物は森に戻したりリサイクルしたりして、次は美術館を作ろうと思うのでした。こうした『キュッパのはくぶつかん』にみられる「モノを見つめる事から得られる、統合的な学び」のありようは、まさに東京都美術館と東京藝術大学がとびらプロジェクトと連動しながら昨年度より行っている、上野の杜の文化施設が連携して子供たちのミュージアム・デビューを応援するラーニング・デザイン・プロジェクト「Museum Start あいうえの」の趣旨と重なります。原作者オーシルさんは、キュッパのように木の枝や、根を収集するのが大好きな方ということです。



『キュッパのはくぶつかん』
オーシル・カンスタ・ヨンセン 作
ひだにれいこ 訳
福音館書店

オーシルさん自身が語る『キュッパのはくぶつかん』の世界とその舞台裏のお話にどうぞご期待ください。



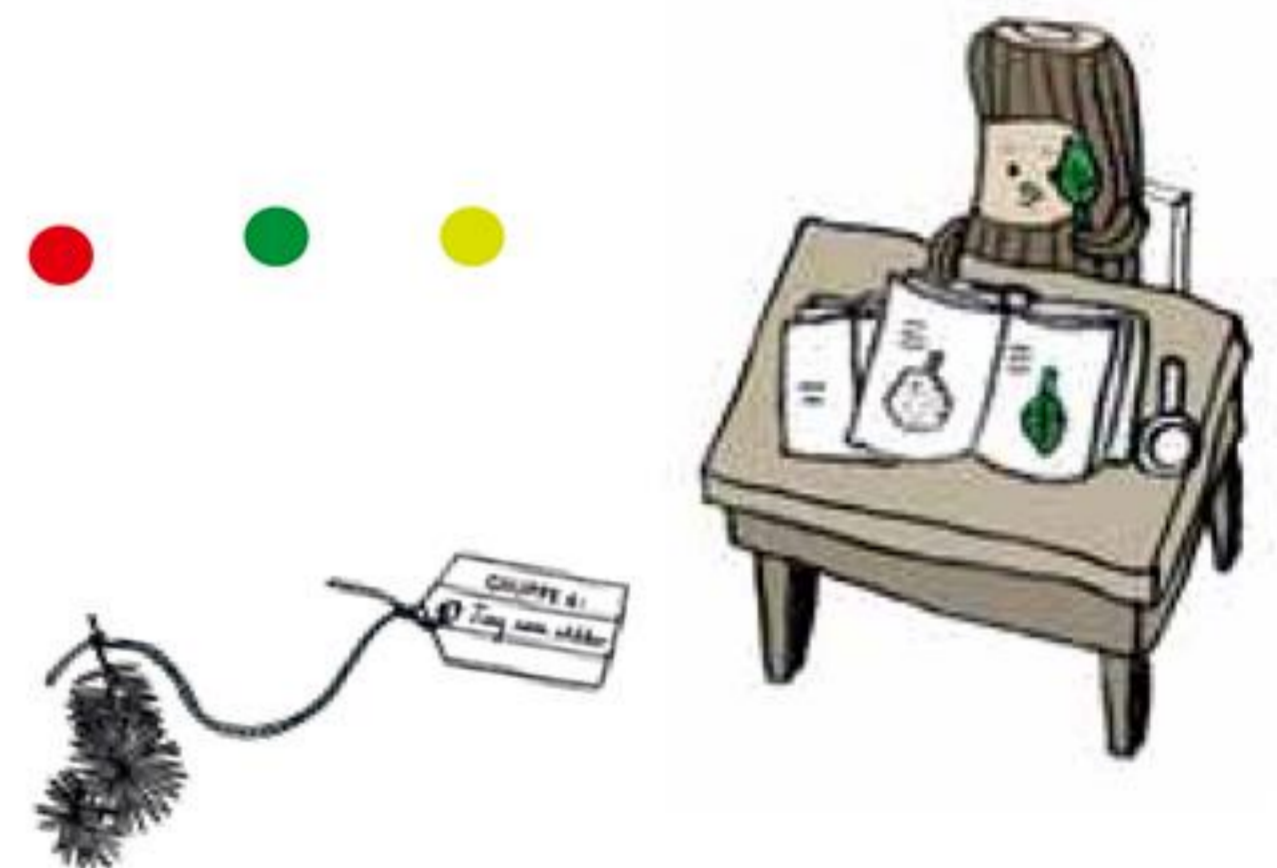
日時：平成26年5月5日（月・祝）10時30分～12時30分

会場：東京都美術館 講堂

定員：220名（事前予約制・定員となり次第締切）

参加費無料・先着順着席・逐次通訳

申込方法：とびらプロジェクトウェブサイトより、申込フォームにて必要事項を入力の上お申込みください。（<http://tobira-project.info>）申込みを受付た方には参加票をご返送致します。



ノルウェーから
来日！



©Åshild Kanstad Johnsen/TMS

作者：オーシル・カンスタ・ヨンセン ベルゲン在住。
1978年ノルウェーのベルゲンに生まれる。イラストレーターである父の影響もあり、幼少期より絵を描きはじめ、ベルゲン国立芸術大学に入学しデザインを学ぶ。木の枝や、木の根っこを収集する趣味から、それらを模写するようになる。デビュー作である『KUBBE LAGER MUSEUM』（日本語題：キュッパのはくぶつかん）は、母国ノルウェーだけでなく、フランス、スウェーデン、ドイツ、韓国でも高い評価を得ている。



原作者オーシルさんが語る『キュッパのはくぶつかん』

